

■「学生支援担当教職員研究会」を開催

9月8日(月)、本学工学部共通講義棟大会議室で「平成20年度学生支援担当教職員研究会」を開催しました。この研究会は学生支援担当教職員が当面する学内の諸問題について、最新の知識を得るとともに意見交換をすることで相互の理解を深めることを目的としています。



今年度は「発達障害の学生への支援について」をテーマに開催され、本学保健管理センター井崎ゆみ子准教授による「発達障害の基礎知識」の講演、徳島県立教育総合センター指導主事喜馬久典氏による「高校における発達障害の実情と支援」、本学学生相談員の岡みぎわ氏による「大学における発達障害を抱える学生の問題」講演があり最新の情報、対応について情報を聞き、意見交換することで今後の学生指導についての貴重な情報が得られました。

■徳大病院「ISO9001第2回更新審査」を受審

9月25日・26日の2日間にわたり、(社)日本能率協会審査登録センターによる品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の第2回更新審査を受審しました。

今回は、平成18年に、医療の質の管理及び改善を図るための第三者評価システムを運営することで、医療サービスの質を向上させることを目的とした「病院品質管理室」を設置後、初めての更新審査となったが、病院全体にわたってPDCAサイクルの運用が浸透し、各業務において継続的改善が図られていることで高い評価を受けました。

同院は、今後も病院に継続的改善を促すマネジメントのツールとしてISO9001を活用し、医療の質と



■「エンジニアリングフェスティバル2008」を開催

大学院ソシオテクノサイエンス研究部では、本年度8回目となる「エンジニアリングフェスティバル2008」を9月26日(金)に、総合科学部及び知的財産本部との共催で、また(独)科学技術振興機構JSTイノベーション・徳島の後援を得て開催しました。同フェスティバルは、大学院ソシオテクノサイエンス研究部における研究成果を広く地域の人々に公開し、地域における科学技術の振興の一助となることを目的としています。また、同研究部の研究活動や研究内容

について社会への説明責任を果たすとともに、民間企業からの共同研究のシーズの提案なども視野に入れています。

今回は「重点研究テーマ」を「環境技術・エネルギー技術・バイオ技術」と設定し、同研究部の研究成果をはじめとする計45件をポスター展示し、それぞれの研究担当教員が説明を行いました。



学内外から約3000人の参加があり、参加した企業の方からは、「興味深い内容が多く、非常に面白い。」「熱心な説明で、よくわかった。」等の意見がありました。

■徳島大学薬学部薬用植物園一般開放「草木染めの神秘」を開催

薬学部薬用植物園では、10月6日(月)から10日(金)までの5日間、毎年恒例となっている一般公開を全面開放により行いました。

今回は、初めての試みで地元サイクル参加型の「薬草園一般開放」草木染



め「神秘」を企画しました。地元サイクルの人たちには、今まで使ったことがない園内の薬草や珍しい植物で草木染めに挑戦してもらい、とても神秘的な色にできあがった約1000点の作品は一般開放期間中に園内の実習舎で展示し、サイクル代表者が作業工程等の説明を行いました。

園内で行う地元サイクルの展示会は、染色をされている人だけでなく、薬草を見学に来られた人にも非常に好評で、ぜひ来年も企画してほしいという要望がたくさん寄せられました。

■アジア人財資金構想事業(徳島地域)「留学生のための就職支援プログラム」を開催

徳島大学留学生センター(12月1日付けで国際センターに改組)は、10月24日(金)に新蔵地区の地域・国際交流プラザにて、アジア人財資金構想事業(徳島地域)による「留学生のための就職支援プログラム」を開催しました。

同プログラムには約90名の留学生や企業、大学関係者が参加し、黒田泰弘副学長の開会挨拶、四国経済産業局・四国生産性本部より「アジア人財資金構想」と「四国地域の取り組み」についての講演、続いて本プログラム第一期生となる留学生5名からインターシップの報告があった。その後、現在日本企業に就職して活躍してい



る留学生OBから、自らの就職活動体験談の講演があり、さらに地元企業の人事関係者が「企業が求める人材」について講演を行った。

フォーラムに参加した留学生からは、「素晴らしい体験ができ、今後の就職活動に役立つと思う。」「色々な企業の人事担当者と話すごができ、これからの就職活動をどうすれば良いか分かってきた。」などの感想が聞かれ、今回のフォーラムは地元での就職を目指す留学生にとって貴重な体験となった。

■「大学院生及び学部卒業予定者と学長との懇談会」を開催

11月6日(木)、工学部共通講義棟大会議室で「大学院生及び学部卒業予定者と学長との懇談会」を開催しました。大学院生との懇談会は今回で8回目となるもので、各研究科・教育部の大学院生14名が、学部卒業予定者との懇談会は今回で10回目となるもので、各学部の卒業予定者10名が、大学側からは青野学長、川上副学長、長尾副学長、五十嵐副学長及び各研究科・教育部長(学部長)等が出席

しました。

青野学長から徳島大学の現状について、長尾副学長から本学の研究の現状について説明があった後、事前に寄せられた学生からの意見・質問を基に、川上副学長、各研究科・教育部長(学部長)等から各部署の現状説明を含め、回答がなされました。

学生からは、修学、学生生活、施設・設備、進路・就職等について活発な意見が出され、有意義な懇談会となりました。



■「学生の保護者代表と学長との懇談会」を開催

11月11日(火)、工学部共通講義棟大会議室で「学生の保護者代表と学長との懇談会」を開催しました。この懇談会は今回で10回目となるもので、各学部の保護者代表13名と青野学長、川上副学長、黒田副学長、五十嵐副学長及び各学部長等が出席しました。



最初に青野学長から徳島大学の現状について、黒田副学長から地域連携について、伊藤就職支援室長から就職状況についての説明があり、引き続き、保護者代表から教育、進路・就職、施設・整備、地域貢献等について意見・質問が出され、徳島大学の教育・学生支援及び地域貢献への取り組みに対する関心の高さを再確認させられる懇談会となりました。

■叙位叙勲

平成20年秋の生存者叙勲を次の方が受章されました。

- 瑞宝中綬章 齊藤隆雄
- 元 徳島大学教授医学部
- 元 徳島大学医学部附属病院院長
- 元 徳島大学学部長
- 徳島大学名誉教授 教育研究功労

- 瑞宝中綬章 若野洋一
- 元 徳島大学教授歯学部
- 元 徳島大学歯学部附属病院院長
- 元 徳島大学歯学部長
- 徳島大学名誉教授 教育研究功労
- 瑞宝双光章 横山一郎
- 元 徳島大学庶務部長
- 文部行政事務功労

■「佐那河内村タウンミーティング」開催

徳島大学は11月23日(日)、佐那河内村の佐那河内中学校校体育館において「地方の元気再生へー風景に根ざした地域ブランドづくり」をテーマにタウンミーティングを開催しました。

徳島大学と徳島地域連携協議会の主催、佐那河内村の共催により、昨年の上板町に引き続き第5回目の開催となったもので、約1000人が参加しました。

開会にあたり黒田泰弘副学長及び松尾肇佐那河内村長が挨拶。第一部では、「伝統と時代をつなぐワークシヨップ」、「風景を愛するワークシヨップ」佐那河内小中連携授業などの試み、「徳島大学地域再生塾での地域資源を活用した取り組み」、「地域ブランドの活用例」と題した4つの協働の試みが発表され、佐那河内村の生活文化や風景を再発見する試みや他の自治体の地域資源を活用した取り組みの事例が紹介されました。

第二部の車座談話においては、佐那河内村長、佐那河内村のももいちご生産者、JA徳島市職員、佐那河内村

「緑の協力隊」の学生と、徳島大学の地域再生や景観工学を専門とする教員が車座談話を行い、村が抱える地域課題を取り上げ、今後の村の活性化につながる解決策について議論し、全ての世代が楽しめる村の娯楽の復活や地域資源を情報発信することの大切さなどそれぞれの立場から意見が述べられました。

会場では、地元の特産品の豆「さざげ」を使った伝統料理「粥せんざげ」の試食と、村人が描いた棚田の絵、小学生が作成した風景絵はがき、徳島大学生が撮影した写真の展示などが行われ、展示された写真は希望者に配られました。

